

医学系研究科保健学専攻 学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

医学系研究科保健学専攻は、以下の指針の下に、学生が修得した高度な専門知識、技能ならびに態度を多面的に評価するとともに、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに則して、カリキュラムや教育内容が適切に構成され、効果的な教育方法によって実行されているかを検証します。

1. 評価の内容

各科目の学修成果は、各科目で必要とする学修が行われ、各科目で設定された目的・到達目標が達成されたかを評価します。学位論文審査及び最終試験では、研究及び学修成果が学位授与に相応する内容であるかを評価します。

2. 評価の方法

評価は、プレゼンテーションやディスカッション、演習や課題レポート、筆記試験など各科目で設定された方法により行います。技能を伴う科目の評価は、実技試験、臨地実習評価など（レポート、実習評価表、実習指導報告書および自己評価等）を取りまとめたポートフォリオなどにより行います。特別研究及び課題研究では、進捗状況が各年次で達成すべき水準に到達しているか発表会等にて確認します。

学位論文の評価に関する観点は、本専攻が定める「学位論文審査及び最終試験の方法」に示す通りです。

3. 評価の基準

科目の成績は、可能な限り達成度を数値化し、次に示す、A, B, C, D（不合格）の評価（レターグレード）で評価します。

| 評語（レターグレード）と評点、および評価基準表 | | |
|-------------------------|--------------|------------------|
| グレード | 評点（100点満点換算） | 評価の基準 |
| A | 80点以上 | 基本的な目標を十分に達成している |
| B | 70点以上, 80点未満 | 基本的な目標を達成している |
| C | 60点以上, 70点未満 | 基本的な目標を最低限達成している |
| D | 60点未満 | 基本的な目標を達成していない |

4. 情報の開示

個々の成績評価に関し、学生からの照会に応じる体制を整備します。

5. 点検と改善

評価方法の選定と基準の選定にあたっては、その妥当性、客観性、ならびに実現可能性を考慮し、学務委員会において定期的に見直しを行い、教育内容および教育方法の改善につなげます。